

**鳥取県 御中**

**看護師養成機関に関するニーズ調査  
会議資料**

---

平成25年5月  
丸善株式会社  
大学経営コンサルティング部

# 調査概要(高校生編)

1. 調査目的 鳥取県内で構想される看護専門学校(県東部)、看護大学(県中部)新設の計画・検討のため、本アンケート調査により高校生の卒業後の進路に関する意向等を把握し、両看護師養成機関設置計画の基礎資料とする。
2. 調査対象 鳥取県は県内の全ての高等学校(全31校)  
鳥取県に隣接した岡山県、島根県、兵庫県の市町村、郡の高等学校から選定した高等学校(計34校)  
合計全65校に在籍する高校1・2年生

調査対象校及びアンケート配布枚数

県名	アンケート配布高校数	アンケート配布枚数
鳥取県	31	5,500
東部	(12)	(2,100)
中部	(7)	(1,100)
西部	(12)	(2,300)
岡山県	12	2,400
兵庫県	6	1,200
島根県	16	3,200
合計	65	12,300

3. 実施時期 2013年3月
4. 回収状況 本調査では65校12,300人を対象に質問調査票を配布した。その結果51校7,215人から質問調査票を回収することが出来た。

アンケート回収率(高校数)

県名	アンケート回収高校(数)	アンケート配布高校(数)	アンケート回収率(%)
鳥取県	29	31	93.5%
東部	(11)	(12)	91.7%
中部	(6)	(7)	85.7%
西部	(12)	(12)	100.0%
岡山県	6	12	50.0%
兵庫県	5	6	83.3%
島根県	11	16	68.8%
合計	51	65	78.5%

アンケート回収率(生徒数)

県名	アンケート回収枚数	アンケート配布枚数	アンケート回収率(%)
鳥取県	4,544	5,500	82.6%
東部	(1,780)	(2,100)	84.8%
中部	(635)	(1,100)	57.7%
西部	(2,129)	(2,300)	92.6%
岡山県	607	2,400	25.3%
兵庫県	682	1,200	56.8%
島根県	1,382	3,200	43.2%
合計	7,215	12,300	58.7%

## 調査概要(高校生編)

---

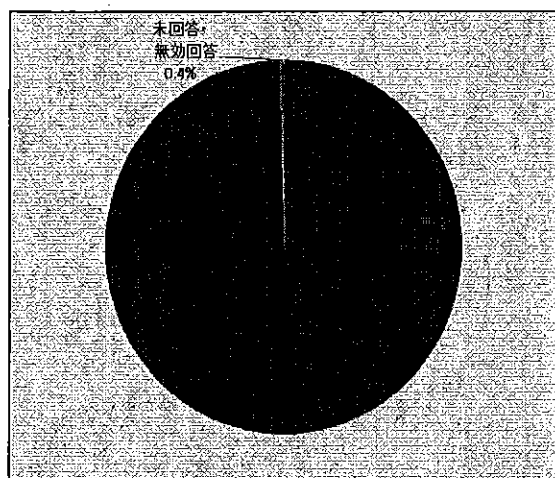
5. 調査方法     アンケート調査票による定量調査(アンケート調査)  
鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課より、調査対象高等学校の  
学校長、各学年主任、進路指導主事(連名)宛て、アンケート資料を送  
付。鳥取県内、県外それぞれ下記の規模でアンケートへの協力を依  
頼。  
(鳥取県内高等学校) 1・2年生、各学年クラス数の半数程度  
(鳥取県外高等学校) 1・2年生、2クラス程度  
添付調査依頼文参照
6. 利用調査票     添付アンケート調査票参照

# 調査・分析結果の要旨(高校生編)

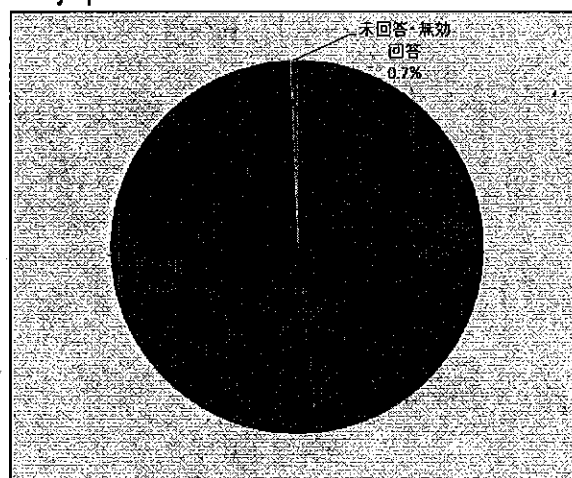
## ①属性

- ・回答者の性別は「女性」5割強、「男性」5割弱でやや女性が多い。
- ・回答者の学年は、「1年生」5割弱、「2年生」5割強と2年生がやや多い。

性別



学年

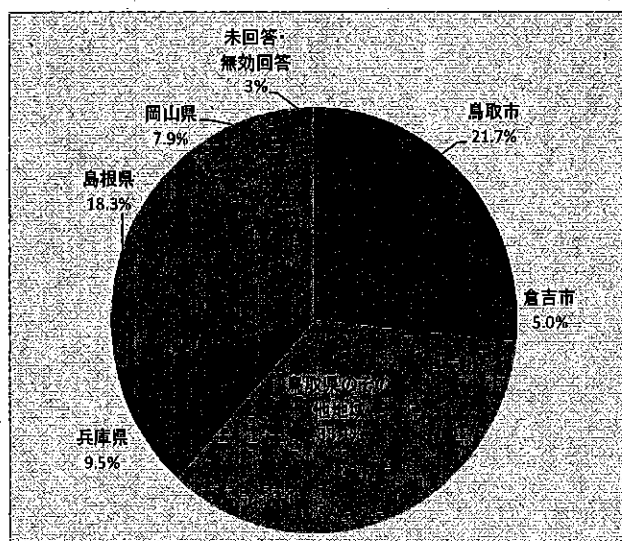


- ・回答者の居住地では「鳥取県のその他の地域」が35.1%を占めていた。

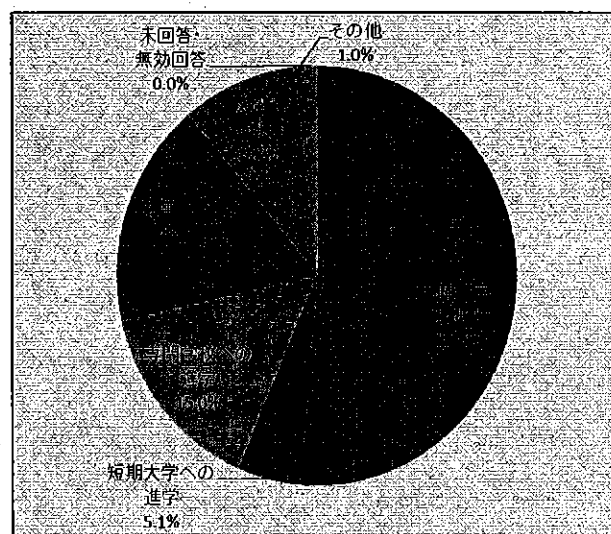
鳥取県のその他の地域の内訳では、「米子市」1,217人、「境港市」124人、「大山町」130人が合計1,588人と、「鳥取県のその他の地域」の過半数(62.7%)を占めている。

- ・回答者の51.4%が「4年制大学」、15.0%が「専門学校」への進学を希望している。

居住地



卒業後の進路の意向

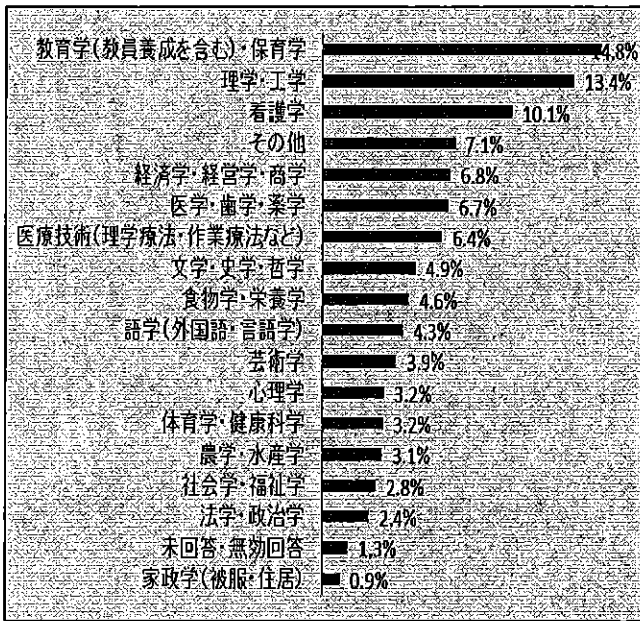


# 調査・分析結果の要旨(高校生編)

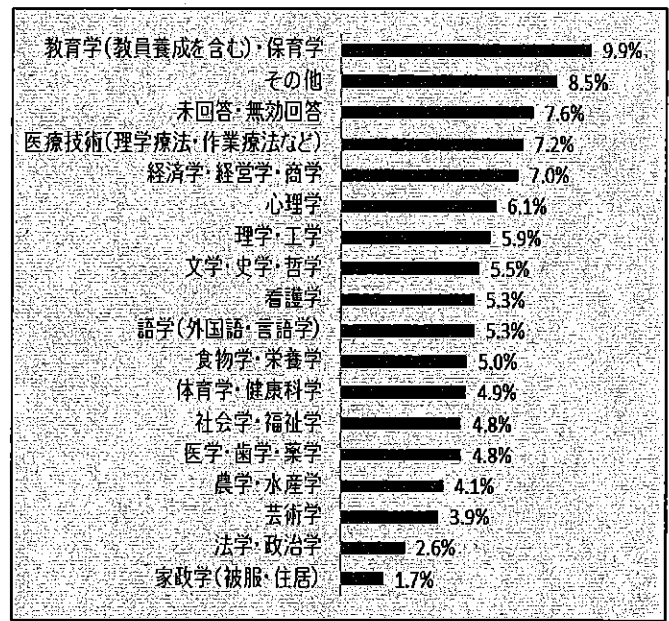
## ②進学希望分野

・「看護学」分野への進学を希望する回答者は「第一希望」10.1%、「第二希望」5.3%であった。

進学したいと考えている分野(第一希望)



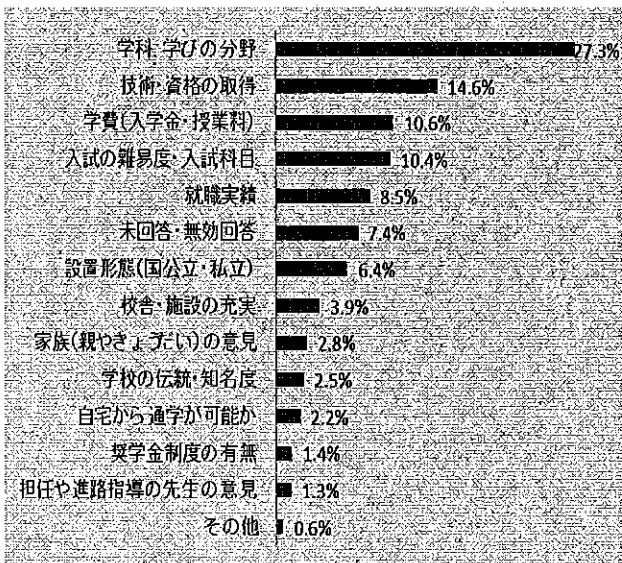
進学したいと考えている分野(第二希望)



## ③進学先決定時の重視要因

回答者は専門学校や大学での「学びの分野」とともに就職を意識した身に付けられる能力や取得できる資格を重視している。

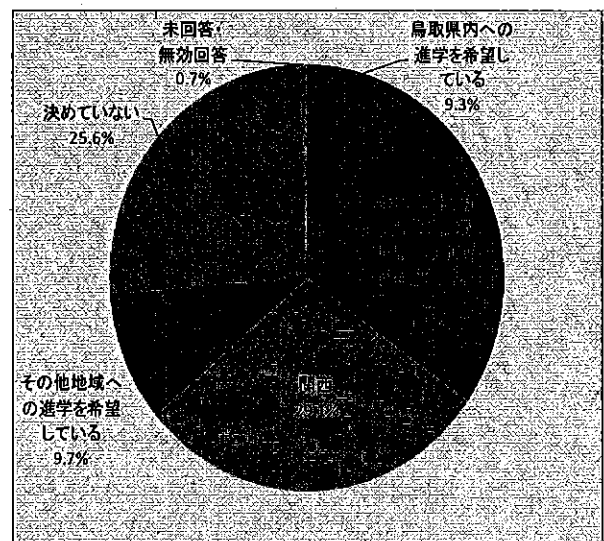
進学決定時の重視要因



## ④進学希望地域

「鳥取県内への進学を希望している」回答者は全体の1割弱である。

進学希望地域



# 調査・分析結果の要旨(高校生編)

## ⑤構想中の看護養成機関(看護専門学校・看護大学)の「興味・関心」及び進学意向

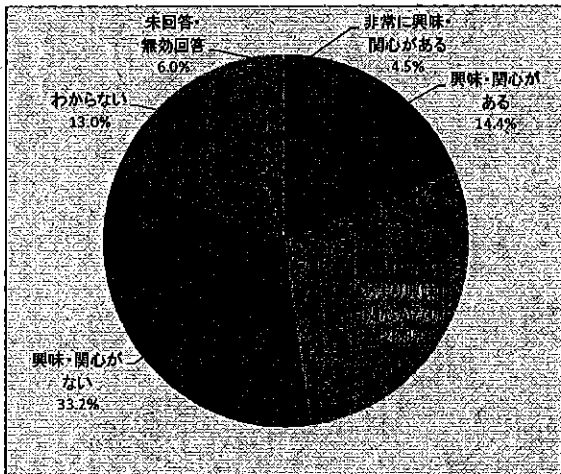
### a.看護専門学校(構想中)

・回答者の18.9%が「興味・関心」を持ち、12.9%が何らかの進学意向を持っている。

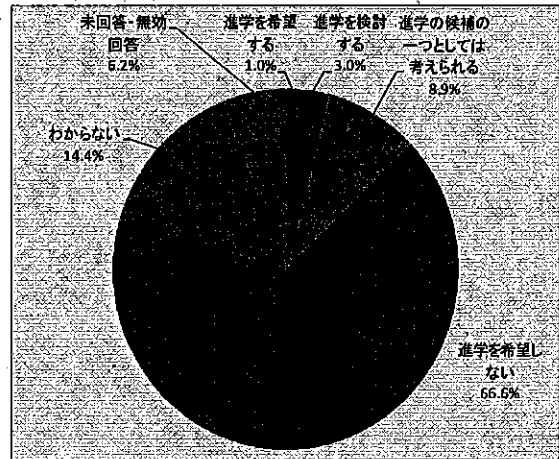
\*「興味・関心」を持つ回答者:「非常に興味・関心がある」4.5%、「興味・関心ある」14.4%の合計

\*「なんらかの進学意向」を持つ回答者:「進学を希望する」1.0%、「進学を検討する」3.0%、「進学の候補の一つとしては考えられる」8.9%の合計

看護専門学校(構想中)への興味・関心



看護専門学校(構想中)への進学意向



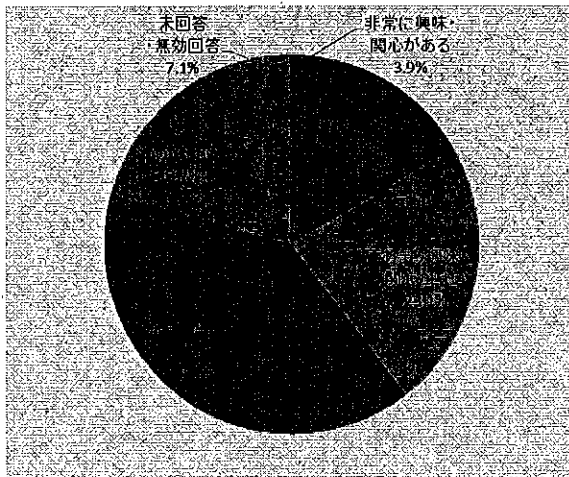
### b.看護大学(構想中)

・回答者の16.5%が「興味・関心」を持ち、11.6%が何らかの進学への意向を持っている。

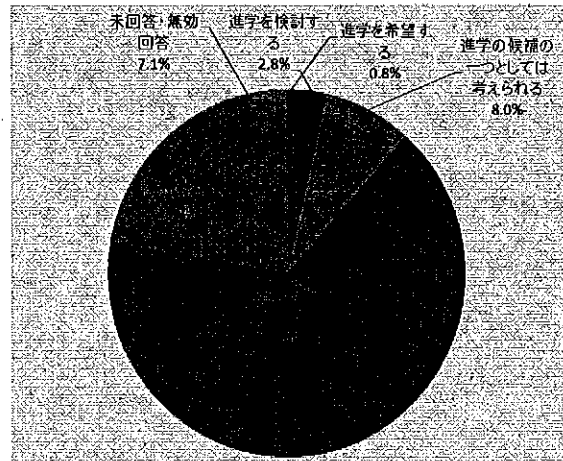
\*「興味・関心」を持つ回答者:「非常に興味・関心がある」3.9%、「興味・関心ある」12.6%の合計

\*「なんらかの進学意向」を持つ回答者:「進学を希望する」0.8%、「進学を検討する」2.8%、「進学の候補の一つとしては考えられる」8.0%の合計

看護大学(構想中)への興味・関心



看護大学(構想中)への進学意向



# 調査・分析結果の要旨(高校生編)

## ○アンケートの結果における進学需要推計

### ・看護専門学校(構想中)

今回の分析の結果から、看護専門学校(構想中)は、推計進学意向者数が鳥取県内で101人、調査対象地域全体では142人となり、入学定員80名(予定)の約1.8倍となり、一定の潜在的ニーズが推計される。

県名	強いニーズ(A)	期待のニーズ(B)	合計(A+B)
鳥取県	34	67	101
兵庫県	5	5	10
鳥根県	9	14	23
岡山県	0	8	8
合計	48	94	142

### ・看護大学(構想中)

今回の分析結果から、看護大学(構想中)は、推計進学意向者数が鳥取県内で103人、調査対象地域全体では188人となり、入学定員80名(予定)の約2.4倍となり、一定の潜在的ニーズがあると推計される。

県名	強いニーズ(A)	期待のニーズ(B)	合計(A+B)
鳥取県	25	78	103
兵庫県	5	20	25
鳥根県	3	31	34
岡山県	3	23	26
合計	36	152	188

・アンケートを実施した高等学校への通学圏内の地区の人口の各県の人口に対する比率と「学校基本調査平成24年度」専門学校進学者数・4年制大学進学者数から、調査対象地域別に専門学校進学者数と4年制大学進学者数を推計

・「進学を希望する」と回答した生徒を強いニーズの関心層、「進学を検討する」と回答した生徒を期待のニーズの関心層と定義

・看護専門学校(構想中)、看護大学(構想中)関心層の回答比を率県別に算出し、調査対象地域別専門学校進学者数(推計)、4年制大学進学者数(推計)から、調査対象地域別の進学意向を「強いニーズの関心層」と「期待のニーズの関心層」に分けて推計

### (今後の課題)

進学意向、興味・関心、意見、要望への回答から、看護専門学校(構想中)および看護大学(構想中)に共通して、特徴、学びの内容や設置の趣旨が十分に伝わっていない可能性が推測され、この点に今後の課題があるといえる。今後の対応として、教育・研究内容の特徴、養成する人材像を明確にし、広報活動や高校訪問等においてわかりやすく説明することで、志願者を確保することが重要な要因と考える。

また、看護専門学校(構想中)と看護大学(構想中)の双方を設置する場合、それぞれの学びの内容、看護師養成機関としての特徴、学納金等の違いから生じるメリット、デメリットを伝えるとともに、それぞれ志願者のニーズをふまえた看護師養成機関としての役割分担を明確にすることが必要と考える。

看護分野を志願する生徒は、看護師として働くという明確な目的を持っている生徒が多いため、医師会等と連携し、学生の実習先や、卒業後の就職先を確保していくことも今後の課題となる。

その他、「学費(入学金・授業料)」が進学先決定時重視要因の上位に挙げられていることから、周辺競合校の状況を見据えた学納金の設定についても慎重に検討する必要がある。

## 調査概要(高校進路指導担当者編)

---

1. 調査目的 鳥取県内で構想される看護大学(県中部)、看護専門学校(県東部)新設の計画・検討のため、本アンケート調査により高校生の卒業後の進路に関する意向等を把握し、両看護師養成機関設置計画の基礎資料とする。
2. 調査対象 鳥取県、岡山県、島根県、兵庫県から選定した高校65校に在籍する高校進路指導担当者
3. 実施時期 2013年3月
4. 回収状況 本調査では65校の進路指導担当者を対象に質問調査票を配布した。その結果33校の高校進路指導担当者から質問調査票を回収することが出来た。(回収率59.6%)
5. 調査法 アンケート調査票による定量調査(アンケート調査)  
高校生アンケート調査と合わせて依頼
6. 利用調査票 添付アンケート調査票参照

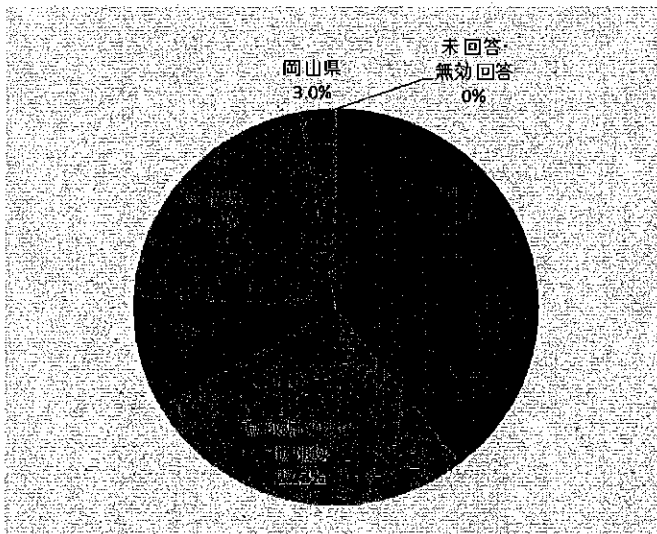


# 調査・分析結果の要旨(高校進路指導担当者編)

## ①属性

- ・回答校の所在地は6割強が鳥取県内を占めている。
- ・回答校の看護系養成施設(4年生大学、専門学校)への進学実績は、平成21年度～23年度では、4%前後を推移している。

所在地



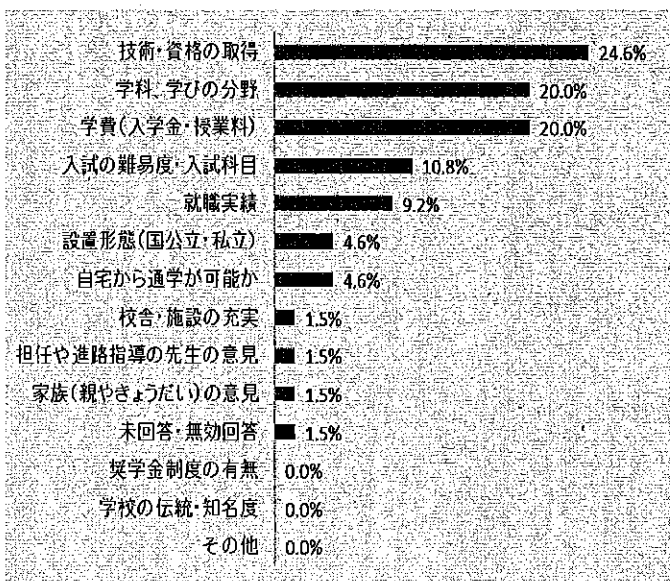
看護系養成施設への進学実績



## ②進学先決定時の重視要因

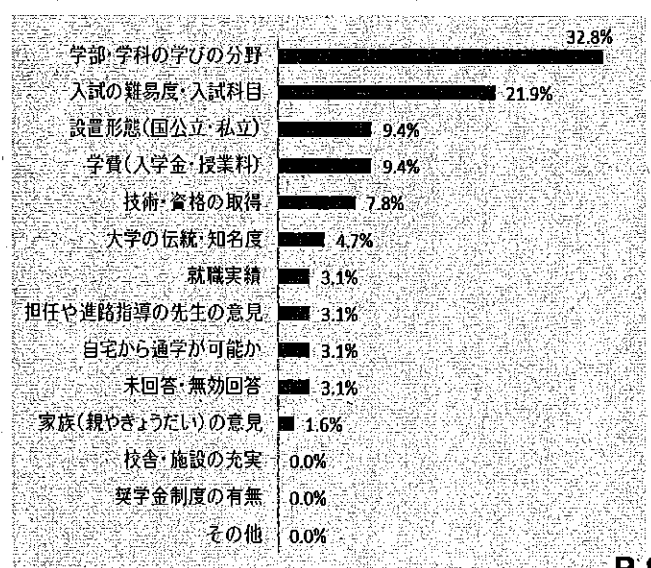
a.「看護専門学校」(構想中)を志望する生徒は、就職を意識した身に付けられる能力や資格取得を最も重視している。

受験校決定時の重視点



b.「看護大学」(構想中)を志望する生徒は、「学科、学びの分野」を最も重視している。

受験校決定時の重視点

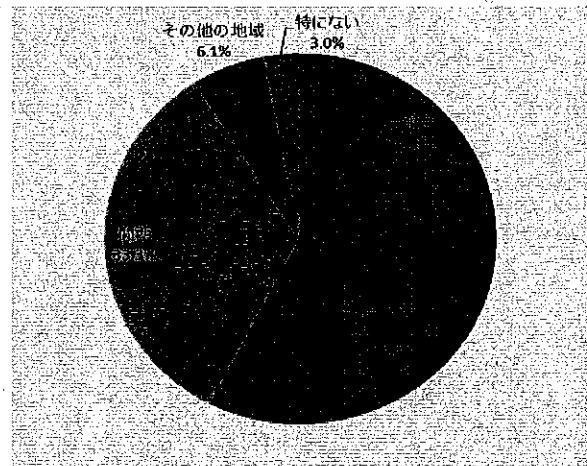


# 調査・分析結果の要旨(高校進路指導担当者編)

## ③進学希望地域

・過半数が進学希望地域を「鳥取県近県」と「関西」と回答している。

生徒の進学地域の傾向や特徴

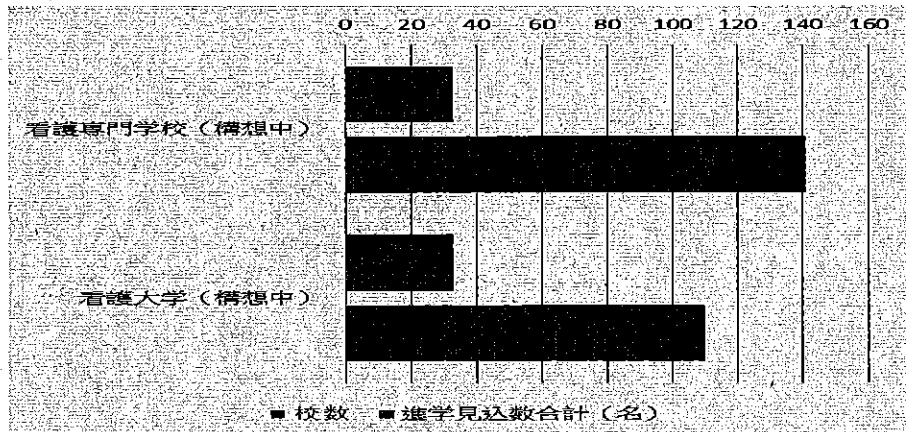


### ○アンケートの結果における進学需要推計

a.看護専門学校(構想中)への高校進路指導担当者による入学見込数は、未回答・無効回答を除いた29校で合計141人となった。この人数は看護専門学校(構想中)の入学定員(予定80名)に対して約1.8倍となることから、看護専門学校(構想中)に対する一定の進学需要が推測される。

b.看護大学(構想中)への高校進路指導担当者による入学見込数は、未回答・無効回答を除いた30校で合計110人となった。この人数は看護大学(構想中)の入学定員(予定80名)に対して約1.4倍となることから、看護大学(構想中)に対する一定の進学需要が推測される。

構想中の看護師養成機関(構想中)への進学見込数



### (今後の課題)

今後計画を進めるに当たっては、進路指導担当者に対して看護専門学校(構想中)および看護大学(構想中)の学びの内容、看護師養成機関としての特徴、学納金等の違いから生じるメリット、デメリットを伝えるとともに、それぞれ志願者のニーズをふまえた看護師養成機関としての明確な役割分担が必要と考える。

# 調査概要(事業所編)

## ■ 調査概要

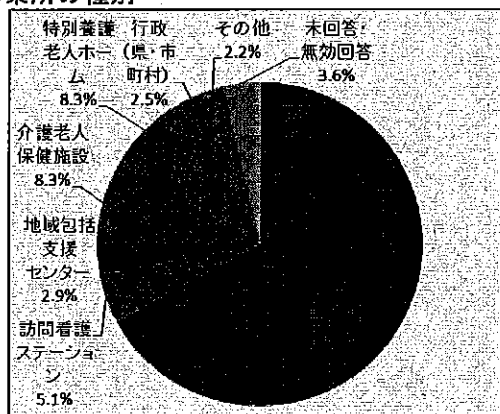
1. 調査目的 鳥取県内で構想される看護大学(県中部)、看護師専門学校(県東部)の計画・検討のため、本アンケート調査により卒業後の就職受入れ先としての病院・事業所の人材需要、課題を明確にし、鳥取県として支援等を検討するために設置した「看護師養成の抜本的拡充に向けた検討会」での参考資料とすることを目的としている。
2. 調査対象 鳥取県内の病院、診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、行政(県・市町村)など
3. 実施時期 2013年3月
4. 回収状況 本調査では641事業所を対象に実施し、276事業所から質問調査を回収することが出来た。(回収率43.0%)
5. 調査法 アンケート調査票による定量調査(アンケート調査)
6. 利用調査票 添付アンケート調査票参照

# 調査・分析結果の要旨(事業所編)

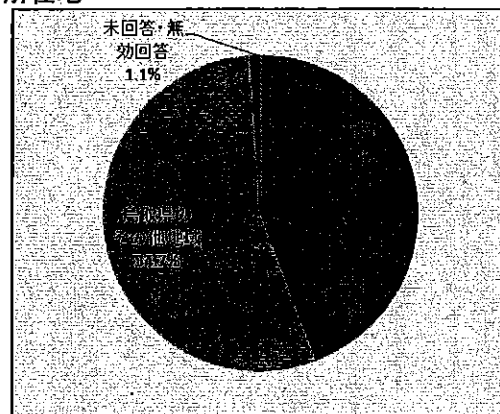
## ①属性

- ・事業所の種別では「診療所」が半数以上を占めている。
- ・事業所の所在地は「鳥取県その他地域」が半数以上を占めている。

事業所の種別



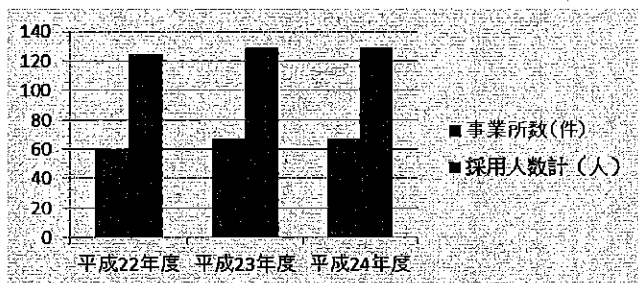
所在地



## ②採用

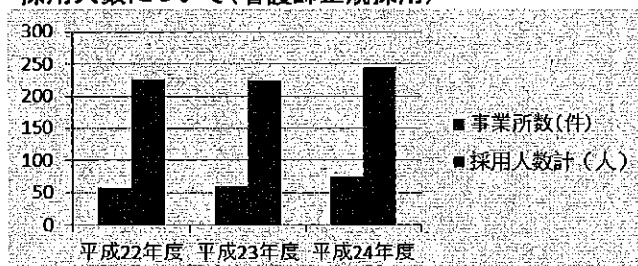
・「准看護師」の正規採用数は平成23年度が67事業所計129人、平成24年度が67事業所計129人と同数で推移している。

採用人数について(准看護師正規採用)



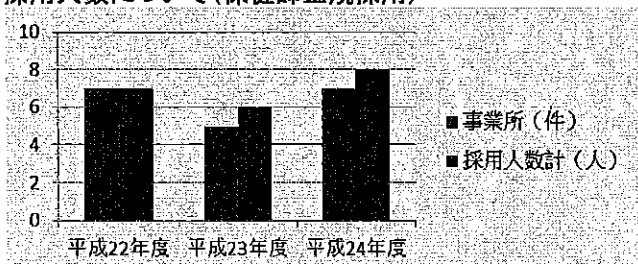
・看護師の正規採用数は平成23年度の60事業所計224人から、平成24年度の事業所は75件244人と採用事業所数は増加している。

採用人数について(看護師正規採用)



・保健師(正規採用)は、採用数も少なく、大きな増減もない。また(非正規採用)では微増している。

採用人数について(保健師正規採用)



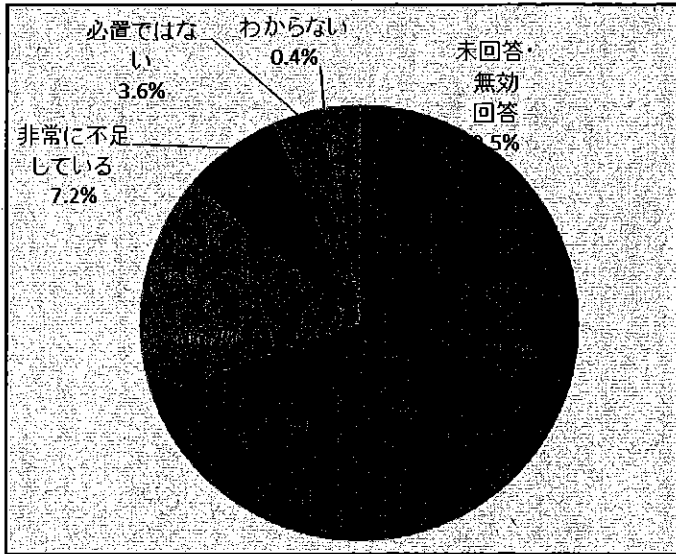
# 調査・分析結果の要旨(事業所編)

## ③充足状況

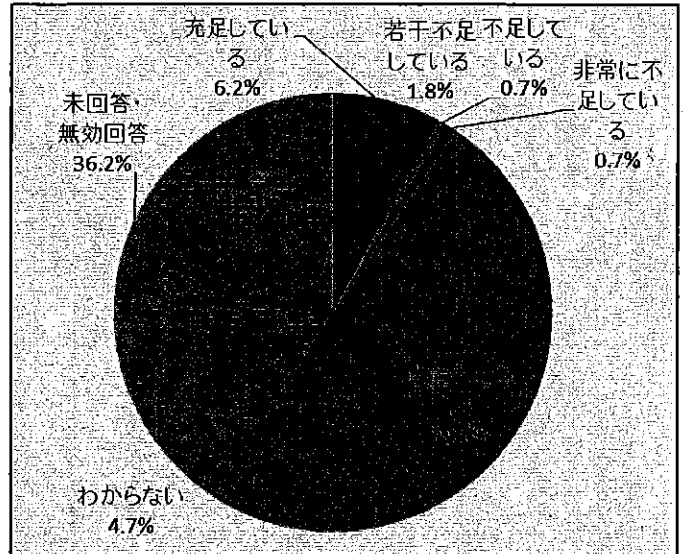
・事業所の看護師の充足状況として5割弱の事業所で看護師が不足している。

・事業所の保健師の充足状況として、「必置ではない」が回答の半数近くを占めている

職種の充足状況(看護師)

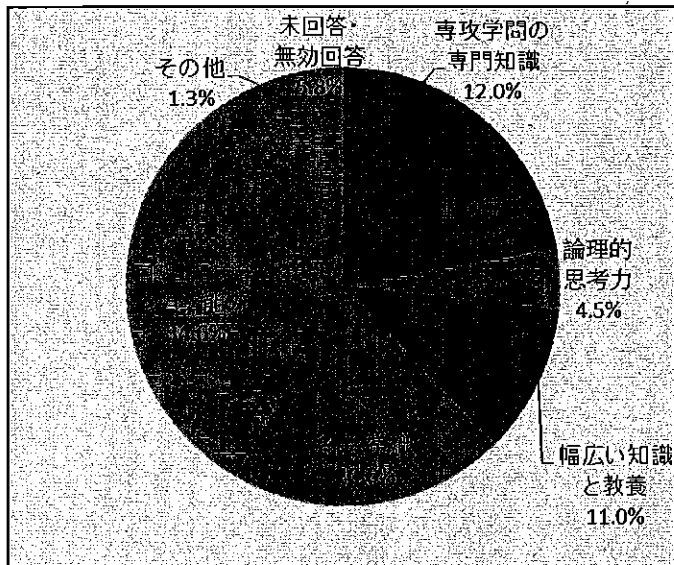


職種の充足状況(保健師)



## ④人材採用の重視点

・「コミュニケーション能力」、「社会常識」、「専攻学問の専門知識」の回答が上位を占め、専門知識や学力の他、コミュニケーションによって個々の能力を組織の力として結集し、成果をあげる能力が重視されていることが推測される。



# 調査・分析結果の要旨(事業所編)

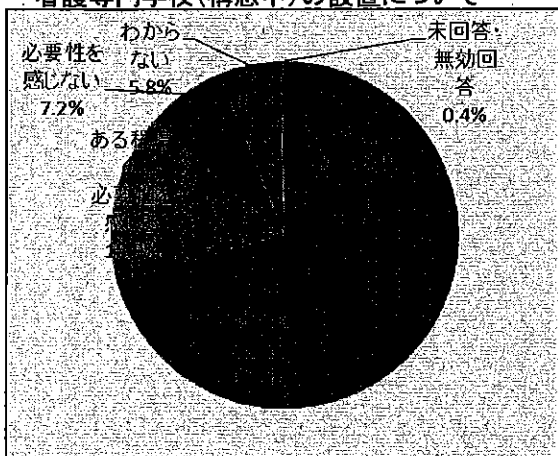
## ⑤看護専門学校(構想中)の設置(の必要性)と卒業生の採用意向

a.看護専門学校(構想中)は、回答者の86.5%が設置に何らかの必要性を感じ、67%が求人意向を持っている。

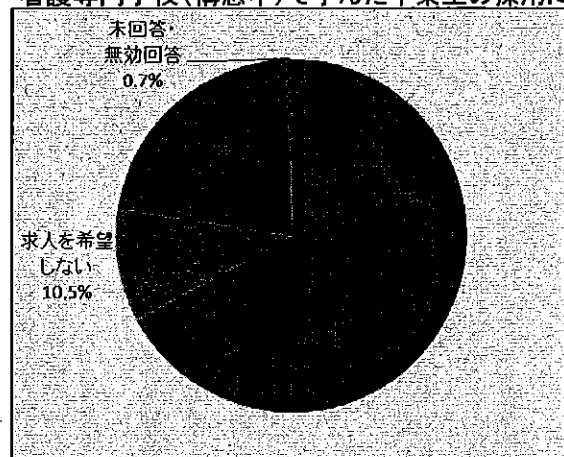
\* 上記「設置に何らかの必要性」を感じる回答者:「非常に必要性を感じる」35.5%、「必要性を感じる」35.1%、「ある程度の必要性を感じる」15.9%の合計

\* 上記「求人意向」を持つ67.0%の事業所、「求人したい」32.2%、「求人を検討したい」34.8%と回答した事業所の合計

看護専門学校(構想中)の設置について



看護専門学校(構想中)で学んだ卒業生の採用について



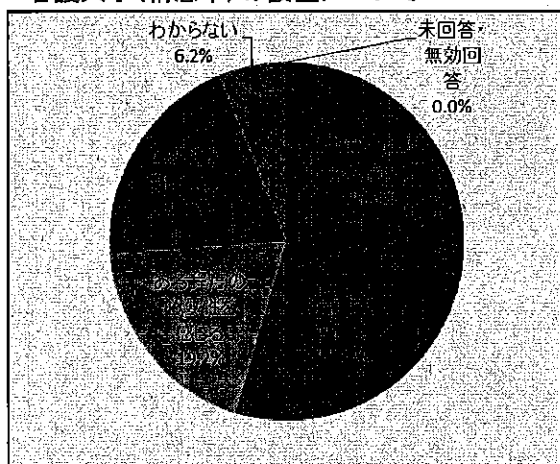
## ⑥看護大学(構想中)の設置(の必要性)と卒業生の採用意向

b.看護大学(構想中)は、回答者の73.9%が設置に何らかの必要性を感じ、53.2%が求人意向を持っている。

\* 上記「設置に何らかの必要性」を感じる回答者:「非常に必要性を感じる」26.8%、「必要性を感じる」27.9%、「ある程度の必要性を感じる」19.2%の合計

\* 上記「求人意向」を持つ53.2%の事業所、「求人をしたい」25.7%、「求人を検討したい」27.5%と回答した事業所の合計

看護大学(構想中)の設置について



看護大学(構想中)で学んだ卒業生の採用について

